

## IV 研究方法

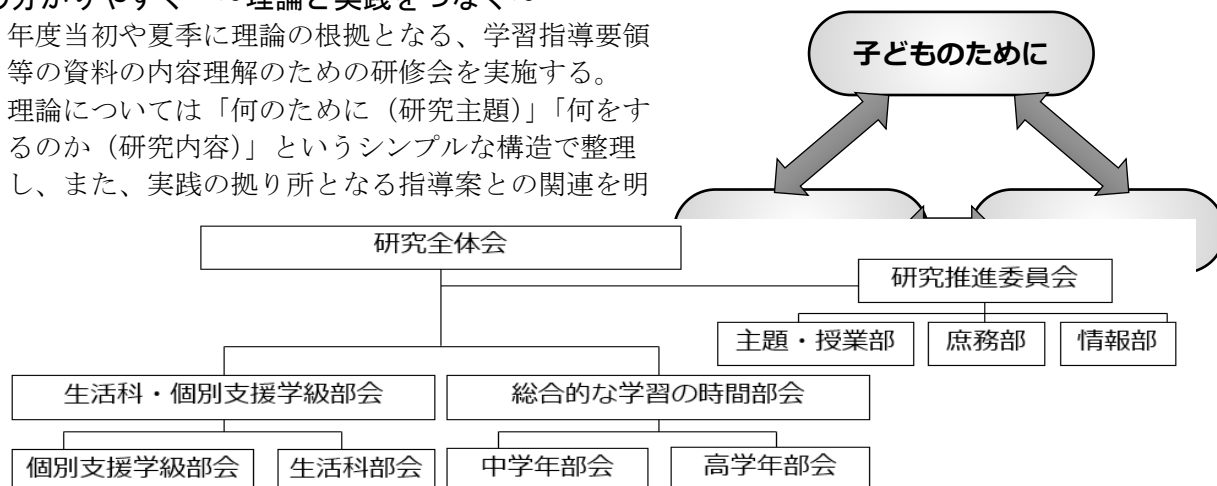
### 1 研究組織

- ・研究全体会：研究計画・内容の決定、実践の共有
- ・研究推進部：研究計画・内容の立案、研修会の運営、各部会での話題の共有
- ・主題・授業部：指導案検討、授業研究会前検討、授業後の検討会、共通課題の設定
- ・研究庶務部：指導案の取りまとめ、授業記録（職員の振り返り等）の保存、渉外
- ・研究情報部：校外外への研究についての情報発信、授業記録（写真や動画等）の保存

### 2 基本方針 ～分かりやすく・みんなで・子どものために～

#### ○分かりやすく ～理論と実践をつなぐ～

- ・年度当初や夏季に理論の根拠となる、学習指導要領等の資料の内容理解のための研修会を実施する。
- ・理論については「何のために（研究主題）」「何をするのか（研究内容）」というシンプルな構造で整理し、また、実践の拠り所となる指導案との関連を明



確にし、何のために、何をするのか、教師自身が自覚できるようにする。

#### ○みんなで ～同僚性を大切に～

- ・教材研究や指導案検討には、部会を中心に、必要に応じてその枠を越えて協働的に取り組む。そうすることで、職員同士が互いの実践に対して自分事として向き合えるようにする。
- ・授業研究会前の板書計画等を参加可能な全職員で行い、1時間の授業の意図を共有する。
- ・授業後の研究会では、よいところだけでなく、よりよい授業を目指し、キャリアや立場に関係なく、課題を中心に議論する。←課題も含めて互いの実践に自分ごととして向き合う姿勢があるから可能になる。

#### ○子どものために ～子どもの事実を常に意識する～

- ・授業研究会では、子どもの姿を中心として議論を行い、発言の記録等の事実をもとに成果と課題を分析し、授業改善を図り、その観点から単元構想や学習材を見直す。
- ・互いに授業を見合うことで、子ども観や指導観を共有する。
- ・年度末には授業を伴う研究会を行い、子どもの姿から1年間の成果と課題を分析し、次年度の研究へとつなげる。

### 3 今年度の取組

上記の三つの基本方針を連動させ、子どものための研究を実現していくために、授業研究会の進め方について夏期研修を通して議論した。そこで、授業研究会をこれまで通り子どものための単元開発・授業改善のための場として充実させると同時に、そのためにも、教師にとって授業力の向上を目指す学びの場としても機能させることが必要であることを確認し、具体的に次のような視点・取組の重要性について共有した。

#### ○個人として

- ・いろいろな職員に相談しながらも、授業を行う・子どもを育てる責任をもち、授業の内容や単元の進め方について考え抜く。
- ・研究に関する各部署が、研究内容とどのような関わりがあるのか、ということを理解し、一人一人の役割を自覚し、自分ごととして研究会の運営に取り組む。
- ・授業研究会や研修に対して自分自身の現時点での課題を明確にして、学習者としての自覚をもち、探学的に学ぶことを意識して臨むようにする。

### ○部会として

- ・日常的に互いの授業を参観し、子どもとの関わりやそれまでの学習経験について共有する。
- ・授業を見る際には、部会としての課題を設定し、共通の視点をもって授業を見るようにする。
- ・その課題については、主に授業者の意図、板書検討時に議論されたことをもとに設定し、授業後の研究会では、その視点をもとに論点を明確に（可能な限り可視化）して協議をする。

### ○全体として

- ・部会を超えて授業を見たり指導案検討や板書検討に参加したりする。学校として、学年や部会の系統性を意識して研究主題・研究副題に向かうことができているかを考える場とする。
- ・分からないことを聞き合える環境・関係を大切にし、研修会では様々な立場・部会の教員が混じり合い議論を行う。

## 4 研究日程

日程	種別	内容
4 / 10	研究全体会①	「今年度の研究の方向性についての理解」
5 / 10	研修会①	「単元の立ち上げについて」
5 / 25	授業研究会①	講師：嶋野先生 大内先生 倉澤先生 竹田先生 授業者：堀(2-2) 渡辺(4-2) 遠藤(6-2)
6 / 8	授業研究会②	講師：渋谷先生 大内先生 竹田先生 芳賀先生 授業者：片岡(1-1) 川合(3-1) 吉川(5-2) 花村(6-1)
6 / 25	授業研究会③	講師：大谷先生 授業者：大西・幸森・土田(個別支援学級)
6 / 29	授業研究会④	講師：大内先生 倉澤先生 竹田先生 授業者：飯田(1-2) 稲葉(2-1) 武藤(3-2) 堀内(4-1) 小塚(5-1)
7 / 26 27	研修会②	「探究的な校内研究にするために」
8 / 30	研究全体会②	「実践の振り返りと今後の取組について」
9 / 7	研究全体会③	「研究計画の見直しと後期の見通し」
10 / 19	授業研究会⑤	講師：嶋野先生 大内先生 竹田先生 相澤先生 本多先生 授業者：飯田(1-2) 武藤(3-2) 吉川(5-2) 堀(2-2) 堀内(4-1) 花村(6-1)
10 / 26	授業研究会⑥	講師：渋谷先生 大内先生 倉澤先生 竹田先生 榮先生 芳賀先生 授業者：片岡(1-1) 川合(3-1) 小塚(5-1) 稲葉(2-1) 渡辺(4-2) 遠藤(6-2)
10 / 29	授業研究会⑦	講師：大谷先生 授業者：幸森・大西・土田(個別支援学級)
11 / 1	研修会③	「今後の授業について」
12 / 8	研究発表会	「夢をもち、夢を実現する子ども ～学びどころを生み出す 1時間の授業づくり～」 講師：渋谷先生 田村先生 嶋野先生 大内先生 倉澤先生 竹田先生 本多先生 大谷先生 相澤先生 芳賀先生
2 / 22	研究全体会④	「今年度の研究のまとめと、次年度の方向性について」